

## 平成 26 年度 白血病・リンパ腫委員会活動報告

委員：石田也寸志(委員長)、河崎裕英、今村俊彦、足立壮一、多賀崇、高木正稔、真部淳、康勝好、滝智彦(担当理事) オブザーバー：嶋田明、Kevin Urayama

平成 27 年にはこれまでに 1 回の委員会を開催した。日本小児血液・がん学会期間中に第 2 回委員会を開催予定である。

第 1 回委員会 日時：2015 年 2 月 28 日(土)：14:00～15:00

場所：リーガロイヤルホテル大阪 サブスタジオ

### 1. 稀な白血病に関する調査

学会登録データ 2006 年～2013 年診断 ALL 中の不明症例及び稀な白血病で、疾患登録委員会を通じて、PTOSH に依頼したところ 186 例が抽出された。本年 9 月の時点で二次調査も全て終了し、以下の症例について現在データクリーニングして解析中である。

AUL	Mixed	NK	顆粒球 肉腫	BPDCN	tAL	HES	肥満細 胞腫	計
19	45	19	8	6	76	7	0	180

### 2. 「小児白血病・リンパ腫の疫学研究」研究実施計画

研究実施計画書(案) ver.3.0 が提案され、二次調査は行わない方向で内容の検討を行い、委員の間では承認を得た。しかし学会での疾患委員会活動が大きく変更される計画が進行中であり、本研究を学会審査に出しても委員会活動自体が将来どうなるか不明のため、現在ペンディングの状態になっている。

### 3. CLIC (Childhood Leukemia International Consortium) 情報

CLIC の基本はケースコントロールのデータベースを持ちより、プール分析で十分な検出力を有する小児白血病の病因に関する研究を行うこと、国際的な小児白血病の臨床的・疫学的な特徴を比較することなどが主要な目標である。現時点で日本ではケースコントロールデータを有さないために、そのままの参加は不可能である。現在 CLIC とは別枠でケースのみを対象にしたアウトカム研究を計画中であり、日本も参加可能性があり、事務局と継続審議交渉中である。日本におけるケースコントロール研究について Kevin Urayama が研究計画書を現在作成中である。本委員会がどのように関わるかに関しては、まだ協議中であり酌量である。

(文責・石田也寸志)